

うぐいすがやつ  
 ～鎌倉の旧地名～ 鶯ヶ谷 Uguisugayatsu  
 (現在の雪ノ下二丁目)

12mm

鶴岡八幡宮境内の西側、県道沿いの巨福呂坂旧道入口付近までの地域を示す旧字名で、江戸時代までは八幡宮の神主（大伴氏）などの屋敷がありました。鎌倉幕府三代将軍・源実朝が、鶯の初音を聞いたことから、この名がついたとされています。

県道から西に入ると細い石段があり、登っていくと小さな祠があります。これは「志一稲荷」と呼ばれ、僧侶・志一上人を助けた狐が祀られています。上人は訴訟のために九州から鎌倉に来ていましたが、訴訟用の証文を忘れてしまいました。それを上人に仕える狐が一夜のうちに九州まで取りに帰ったことで、訴訟に勝った話が伝えられています。当時の稲荷信仰を伝える神社です。

7mm

Uguisugayatsu is narrow valley at the west side of the Tsurugaoka Hachimangu Shrine grounds, reaches to the entrance of the old Kobukurozaka along the prefectural road. There were Shinto priests' residences to the Edo period.

Uguisugayatsu means "valley of the bush warbler." The name came from an occasion when the Kamakura third shogun Minamoto no Sanetomo heard the first warbling of the new year.

The Shiichi Inari Shrine at the start of the path to the hill enshrines a fox who helped Shiichi Shonin (Saint Shiichi) to get good judgement.



W210×H190

鎌倉市航空写真 (2014 年 5 月撮影)



鎌倉市